

顔役無用 男性No. 1 (1955)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1955/01/03

【解説】

「地獄の剣豪 平手造酒」の菊島隆三による原案を「女人の館」の井手俊郎が脚色し「土曜日の天使」の山本嘉次郎が監督。撮影は「幽霊男」の山田一夫、音楽は「億万長者」の團伊玖磨がそれぞれ担当した。三船敏郎と鶴田浩二が始めて共演した作品。

ダフ屋を取り仕切る“ビッグ”こと牧の縄張りで働くダフ屋の健。牧はチケットを不法な値段で売りさばく健を捕まえるが、健は口八丁手八丁でその場をごまかし牧の兄弟分ようになってしまった。だが健は金欲しさに牧との約束を破り、牧が弟のように大事にしているボクサー島村に八百長をやらせようとする。それを知った牧は健を、彼の母親の目の前で袋だたきにあわせた。健は二人の本心に気づき心を改め、更正を誓うのだった。

【クレジット】

監督 山本嘉次郎

製作 本木荘二郎

原案 菊島隆三 Kikushima Ryuzou

脚本 井手俊郎

撮影 山田一夫

美術 阿久根巖

音楽 團伊玖磨

出演 鶴田浩二

三船敏郎 Toshiro Mifune

岡田茉莉子

越路吹雪

藤木悠

徳大寺伸

浦辺条子

清水元

岡豊

大村千吉

堺左千夫

塩沢登代路

立花満枝

澤村宗之助

瀬良明